

地域情報システム論

担当者 石川 雄一

開講時期 後期

単 位 2

●講義の概要

地域情報である地域統計とGISを活用した地域の分析方法、空間データを利用した地域の分析方法を講義します。具体的にはGISアプリケーションを用いた地域情報の処理方法に関して、演習を交えながら講義します。

●講義の到達目標

- ①地域統計の活用方法を理解する。
- ②地域情報を自ら収集し解析する能力を培う。
- ③GISの活用法を理解し、初歩的な操作技術を修得する。
- ④修得した技術を研究や実社会で応用することができる。

●講義計画

- 第1回：GISとは－GISの歴史から
第2回：GISの活用事例－行政、マーケティング、研究での活用
第3回：地図投影法と座標のはなし－地理座標と投影座標、測地系
第4回：データマップの作製例－市町村別統計と小地域統計の活用
第5回：ジオコーディングとポイントデータの作成－コンビニマップの作製
第6回：空間分析の手法例－属性検索・空間検索から空間分析へ
第7回：実践基礎編－データ表示
第8回：実践基礎編－検索・解析
第9回：実践基礎編－ジオプロセッシング
第10回：実践基礎編－データ作成・構築
第11回：実践応用編－データマップ作製
第12回：実践応用編－空間分析
第13回：実践応用編－レイアウトづくり(1)
第14回：実践応用編－レイアウトづくり(2)
第15回：課題の発表とまとめ

●成績評価基準と方法

実習が多いので、出席と課題提出を重視、評価は、授業への参加度（40）、課題点（60）で評価する。

課題は授業の前半で3点ほど、授業の後半に7点ほど提出してもらいます。

●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕 使用しない。資料等を配布する。

〔参考文献〕・橋本雄一編『GISと地理空間情報（五訂版）』古今書院、2019年（2,700円）

・愛知大学三遠南信地域連携センター編『地域研究のための空間データ分析入門』古今書院、2019年（2,800円）

・今木洋大・伊勢紀編著『QGIS入門（第3版）』古今書院、2022年（3,300円）

●受講上の留意点

授業は、毎回の積み重ねです。前回の授業を休むと授業についていくことができません。予習方法も教示するので、極力欠席しないように心がけ、万一欠席の場合は、しっかりと自習を行ってください。